

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第6区分  
 【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2014-513018(P2014-513018A)  
 【公表日】平成26年5月29日(2014.5.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-028  
 【出願番号】特願2014-508652(P2014-508652)  
 【国際特許分類】

B 6 7 D 1/08 (2006.01)

B 6 7 D 1/04 (2006.01)

B 6 7 D 1/14 (2006.01)

【F I】

B 6 7 D 1/08 Z

B 6 7 D 1/04 F

B 6 7 D 1/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月7日(2015.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネックの周辺に略沿って延びる少なくとも1つの厚肉ネック部(102)を備えたネック(101)を有するプラスチック容器に管継手を固定するためのアセンブリであって、前記ネック(101)上に支持されるように構成された支持フランジ(105)を備えた管継手本体(104)と、

リングを形成するために互いに取り付けることができる少なくとも2つのリング部分(106a、106b)であって、前記容器のネック(101)の周りにおいて前記管継手本体(104)の上に延在するように構成されると共に、前記厚肉ネック部(102)の下に係合するように意図された突出部分(110)を内側に備えている少なくとも2つのリング部分と、を有することを特徴とするアセンブリ。

【請求項2】

前記少なくとも2つのリング部分の各リング部分(106a、106b)は、前記突出部分を形成するために該リング部分に成形されたリング区分(10)を備えている、ことを特徴とする請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項3】

前記管継手本体は、前記管継手本体を前記容器のネックに非回転に配置することができるように前記ネック(101)の複数の突出部を受容することができる複数の突出部受容部分(121)を備えている、ことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のアセンブリ。

【請求項4】

前記少なくとも2つのリング部分の各リング部分は、第1結合部分(111)と第2結合部分(112)とを備え、前記少なくとも2つのリング部分の各リング部分の第1結合部分は、前記少なくとも2つのリング部分を相互に取り付けるために前記少なくとも2つのリング部分の隣接リング部分の第2結合部分と協働するように構成されている、ことを特徴とする請求項1から請求項3の何れか1項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 5】

前記少なくとも 2 つのリング部分の各リング部分の各第 1 結合部分は、前記少なくとも 2 つのリング部分の隣接リング部分の第 2 結合部分にスナップ結合によって結合されるように構成されている、ことを特徴とする請求項 4 に記載のアセンブリ。

## 【請求項 6】

前記少なくとも 2 つのリング部分の各リング部分の各第 1 結合部分 ( 1 1 1 ) は、このリング部分の外側端部から外側に突出する弾性ロックアームを有し、前記少なくとも 2 つのリング部分の隣接リング部分の各第 2 結合部分 ( 1 1 2 ) は、前記ロックアームをロックすることができる凹部を有する、ことを特徴とする請求項 4 又は請求項 5 に記載のアセンブリ。

## 【請求項 7】

前記第 2 結合部分は、各リング部分の第 1 結合部分と同一であり、このリング部分の外側端部から外側に突出する弾性ロックアームと、隣接リング部分の前記ロックアームをロックすることができる凹部とを有する、ことを特徴とする請求項 4 から請求項 6 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 8】

前記管継手本体は、周囲に沿ってプロファイル ( 1 2 4 ) を備え、前記少なくとも 2 つのリング部分は、前記容器のネック上に配置される管継手に対して前記少なくとも 2 つのリング部分を非回転に位置決めするための相補的プロファイル ( 1 1 5 ) を備えている、ことを特徴とする請求項 1 から請求項 7 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 9】

前記管継手本体は、略円筒形直立ジャケット部分 ( 1 2 3 ) を有し、前記プロファイルは、このジャケット部分に設けられ、前記少なくとも 2 つのリング部分の 1 つ又はそれぞれのリング部分は、前記相補的プロファイルを備えた円筒形の内壁を備えた上側部分を有する、ことを特徴とする請求項 8 に記載のアセンブリ。

## 【請求項 10】

前記少なくとも 2 つのリング部分の 1 つの又はそれぞれのリング部分は、いずれの場合においてもその外側端部にフック状要素 ( 1 1 6 a、1 1 6 b ) を備え、前記管継手本体は、その外側周囲に沿って各フック状要素のための突出部 ( 1 3 0 ) を備え、この突出部は、各リング部分を前記管継手本体に個別に取り付けることができるようになっている、ことを特徴とする請求項 1 から請求項 9 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 11】

前記少なくとも 2 つのリング部分の各リング部分のための管継手本体 ( 1 0 4 ) は、上方突出部分を備え、各リング部分は、その外側端部に凹部を備え、この凹部は、各上方突出部分を前記少なくとも 2 つのリング部分の隣接リング部分の隣接凹部に受容し、それによって前記管継手本体に前記少なくとも 2 つのリング部分を位置決めすることができるようになっている、ことを特徴とする請求項 1 から請求項 10 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 12】

前記管継手本体は、ポリエチレンテレフタレート ( P E T )、ポリエチレン ( P E ) 又はポリプロピレン ( P P ) から製造される、及び / 又は、前記少なくとも 2 つのリング部分は、ポリエチレンテレフタレート ( P E T )、ポリエチレン ( P E ) 又はポリプロピレン ( P P ) から製造される、ことを特徴とする請求項 1 から請求項 11 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

## 【請求項 13】

請求項 1 から請求項 12 の何れか 1 項に記載のアセンブリが取り付けられる容器であって、

前記ネックの周囲に略沿って延びる少なくとも 1 つの厚肉ネック部であって、その下に前記少なくとも 2 つのリング部分の突出部分が延在する少なくとも 1 つの厚肉ネック部を備えたネックを有し、

前記厚肉ネック部は、前記ネックと一体的に形成されたネックリング(102)であり

、前記管継手本体(104)の前記支持フランジ(105)は、前記ネックリング(102)上に支持され、各ネックリング部分の前記突出部分(110)は、前記ネックリング(102)の下に係合する、ことを特徴とする容器。

【請求項14】

前記容器は、好ましくは以下の材料、すなわちPET材料、特にボトル等級PET、PP材料、PE材料、PEN材料の1つの材料から、ブロー成形によって、特に延伸ブロー成形によって製造され、

前記容器及び前記アセンブリは好ましくは、0.25バールから10.00バールの間、好ましくは0.50バールから3.50バールの間にある加圧流体を保存するように構成されている、

ことを特徴とする請求項13に記載の容器。

【請求項15】

請求項1から請求項12の何れか1項に記載のアセンブリにおける管継手本体の使用であって、前記管継手本体(104)は、容器のネック上に支持されるように構成された支持フランジを備えている、ことを特徴とする管継手本体の使用。